

## 2020年はねずみ年

ネズミといえば、「十二支のはじまり」の話で、元旦、神様の元にうまくウシを利用して、一番乗りを果たしています。一方、イソップ童話やミッキーマウス、「トムとジェリー」、おまけにパソコンで使う「マウス」など、英雄になったり、悪者になったり、身近なものになったりと幅広く、その存在感を示しています。

しかし、野生のネズミとなると、人間にとってはやっかい者。家に入り込んだり、作物を荒らしたりと悪いイメージが強いです。ネズミの仲間は世界に2000種以上いるといわれていますが、その中でいわゆる家ネズミといわれるドブネズミ、クマネズミ、ハツカネズミの3種類はほぼ全世界に分布域を広げ、人間に害を与えていることも事実です。もっとも、ハムスターやモルモット、ネズミでは最大の大きさをもつカピバラ、リスやビーバーなどもふくまれますが。話をネズミらしいネズミにもどしますと、日本にはアカネズミ、ヒメネズミ、ハタネズミ、カヤネズミなど野生のネズミがすんでいます。特にアカネズミとヒメネズミは森林にすむ代表的な種で、アカネズミはオレンジ色の体と大きな目が特ちょうの美しいネズミです。ヒメネズミはアカネズミに似ていますがより小型で尾の長いかわいらしいネズミです。森林にすんでいて主に夜行性なのでまず目にはありませんが、ネズミの悪いイメージを変えるかわいらしい種類です。もちろん自然に恵まれた上南摩小学校の回りにもたくさんすんでいると思います。

なお、ハリネズミ、「とがり山のぼうけん」のトガリネズミなどは、ネズミの名前が付いていますが、ネズミの仲間ではなく、モグラに近い仲間です。



アカネズミ



ヒメネズミ